夕刊
新京日日新聞

定價 一部 金三錢 一箇月 金八十錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四丁目一番地
發行人 十河 編輯人 松本 印刷人 谷

見本市開催地 決定は多少遲延
奉天側と協調を遂げて

滿洲見本市開催地問題は主催者として本質上より大連開催の意思を有つてゐるが奉天の滿洲國側より奉天開催を熱望しつゝあるのでこれが決定には奉天側の諒解を得る必要がありこれが爲め多少の遲延は免れぬがおについて主催者たる輸組聯合會常務理事中村太郎氏は左の如く語る

日本市問題も可成り紛糾の形に見えますが筋は單純です只結果について充分の考慮を拂つてゐます、組合內部では一應意見の主張はありましたが既に歸一しましたし今の所奉天の滿洲國側の方々から是非奉天で開催せよといふ強い御希望があるのでこれは母國の大切な御得意先であるだけに決して疎かには考へられないと思つてゐます、が滿洲見本市は年來輸入組合の重要な事業となつて居る關係上出品者なり組合員なり多數の意嚮を排除すべきでなく招待側席もあることであり創設當初の立前通り大連開催案を決定した次第です、私の希望としては勿論本年は協調を願ひ度いと思ひますが然しそれに囚はれず將來のこともありお互の考へ方について一應よく突合はせをして置きたいと考へてゐます、實はその爲め過日奉天に立寄りましたが生憎舊正で機會を逸しましたので近い內適當の時期に更めて出向きたいと思つてゐます（大連）

滿洲各種事業の實行調查研究に
吉田大將內地へ出發

關東軍特務部顧問吉田豐彥大將は七日を卅井子石炭積込埠頭、滿蒙資源館、大連機械製作所、三泰油房等の視察見學の後八日出帆うすりい丸で上京の途についた、吉田大將の上京用件は各種事業計畫が漸次進捗し具體的に各方面との折衝の要があり、從つて內地朝鮮における特殊工業につき詳しく調查研究せんとするものであるが、出發に先だち慌しいうちをサロンで語る

今度の內地行は自分の研究だ、換言すれば勉強だ、滿洲における本溪湖、鞍山、撫順、それに大連における各種事業は見たが改めて內地における各方面事業を見て來たいと思つてゐる、それに段々具體的の計畫に移るので技術上の細い打合せをしたいと思ふのだ、先づ門司では神戶製鋼所の伸銅所を見る、そこには大阪工廠に居つたマグネシユーム輕合金、エレクトロンの研究で有名な荒木技師が居るからよく話を聞いてくる、それから東京に行つて十日位滯在し關係方面と打合せの後大阪に歸り住友の伸銅所や製鋼所を視察し歸りに德山の海軍燃料廠を見て八幡製鐵所にゆき、朝鮮に渡つて金提の三菱の工場を視察、安東に行つて火藥會社を見學して來月の初めに新京に歸るつもりで居る、今度は杉本中佐と同行するが一口にいへば計畫を實行に移すについて必要な調査をし其資料を得る爲だ（大連）

米國生命保險失敗史を顧る（下）
法學博士 森莊三郎氏談

既一八六八年（明治元年）には一方に於て新設會社の簇出しつゝある間に數社の倒產を見るに至り、爾後每年幾多の失敗會社を生じつゝあつた際突如一八七三年の金融恐慌が襲來して更に多數の失敗會社を生じ七七年迄繼續したのである、斯樣にして不健全なる會社は概ね整理せられ引き續いて每年一、二の失敗會社を出したが、それも一八八〇年代に殆ど終結して九〇年以後は特筆す可き程の失敗を見ずして十九世紀の清算の幕は降されたわけである。

要するに南北戰爭以後に於て八十余社が破產管財人の手に渡つて消滅し十四社が其の保險契約を他に包括移轉したのである、此等失敗會社の經路は大体に於て同一であり、多くは契約高及資產も少く、取り立てて述べる程の價値はない、失敗の原因と見るべきは會社數の過多なりしこと、戰後の不況、契約者の配當が予想通り實現し得ざりしこと、評價發の濫みしてこし評價法の拙劣等に存すると見解して宜い。

口

以上は十九世紀中に於ける米國生命保險會社失敗史中の特殊なるものを摘錄したものであるが是に依つて立法者並に會社當局が數へられる教訓は何んであるかと云へば

第一、小會社が宏壯なる本社の人物に巨費を投ずることは失敗の源で此等は利廻が甚だ惡い、

第二、投資を一方面に偏することは誤である、比較的確實と云はるる不動產抵當貸付ですら過度であつてはならぬ、經營の失敗會社中方社は不動產所有及び不動產抵當貸付に千四百萬弗を投資してゐたが破產管財人の清算に依つて得たる價格は僅三割一步に過ぎなかつた。

第三、保險會社の資金を用ひて確實なる他の事業を援助することは誤である、即ち銀行其他の金融機關が手控えするが如き事業に進んで援助するが如きは大なる誤りであり又保險會社重役、重役の關係會社、重役の知人等に保險會社から金融することも危險である。

第四、生命保險會社の失敗の重大原因は會社幹部の不正背任行爲等が先づ第一に擧げられねばならぬ、生命保險業の堅實なる發達は投資制限よりも寧ろ人の問題に存する事を保險監督官並に監督法規は深く注意す可きである。

三團體聯合 買付中止を陳情
中銀の特產買占に關し

滿洲中央銀行の大豆買占問題のため、滿洲重要物產組合、大連油房聯合會、重要物產取引人組合の特產三團體では七日午後の聯合役員會の決定により、八日午後各組合長連名の下に全權府、關東軍特務部、滿洲國々務總理、滿洲中央銀行總裁宛陳情書を提出したが十二日新京に開催の官民懇談會に於てはハルピン、新京、公主嶺、開原等の代表者は何れも該問題につき徹底的に意見を闘はす筈だとの情報があり大連側よりは高田商議會頭が出席して事情を具陳することになつて居り、その後の實情如何によつては田村豆信專務乃至瓜谷長造氏が交互に新京に赴き目的の貫徹を期するため第一段、第二段、の對策を講ずる筈であると（大連）

大連港出入貨物
最近七年間推移

滿鐵鐵道部統計係調査による一九三二年（昭和七年）の大連港輸出入貨物は輸出六百二十萬六千二百八十八基噸、輸入八百二十六萬八千四百二十基噸、合計七百四十七萬四千七百八基噸にして前年に比し輸出二十三萬三千百十四基噸（一割）輸入四十八萬一千八百九十五基噸（六割）の增加である更に最近七年間に於ける輸出入貨物基噸數を示せば左の如くである

	輸出	輸入
昭和七年	五、二〇六、六八一	一、二六八、四二〇
昭和六年	五、九三三、七四	七六六、五三五
同五年	[illegible]	[illegible]
四年	[illegible]	[illegible]
三年	[illegible]	[illegible]
二年	[illegible]	[illegible]
元年	[illegible]	[illegible]

であつて昨年度に於ける輸出增加の原因は歐洲向大豆の激增で約五十萬基噸の增加を來して居る之を露支紛爭に起因して東支東行杜絕の爲南下貨物の激增を見た昭和四年度に比すれば聊か遜色があるが同年以後は逐次增加の步調を辿つて居り輸入に於ても時局と銀高の關係で急激な增加を見今後益々好況を思はせて居る

興銀人事異動

【東京八日發電】興銀は七日附左の人事異動を行つた

參事 福潟憲田 本店貸付課長を命ず
參事 中村秀夫 大阪支店支配人を命ず
參事 笹山忠夫 福岡支店支配人を命ず

怪人凱歌（百四十二）
（讀賣上演映畫化）須藤鐘一 作（畫）瀧秋方

大道易者（五）

矢橋も遂に決心した。

學校は折から夏休暇になつて、沙見は故鄉の四國にかへり、親友の家で一夏を暮らすことになつた。

長い休みも終りに近づいた時、沙見は矢橋からの手紙を受取つた。それによると、今度、家の增築に着手することになつたから、來學期は下宿して通學して貰ひ度い、自分の家は內外混雜して勉強も碌々出來まいと思ふから、と、何氣なく認してはあつたが、然し敏感な沙見には、それを文字通りに讀んですまされなかつた。

『何か深い事情があるにちがひない。でなくては、之れまで一家の子供同樣にして來たものに對してこんな他人行儀の手紙をくれるはずはない！』と、察したので、休暇のまだスッカリ終らないうちに上京して、いろ〳〵探りを入れて見ると、果して自分にとつて容易ならぬ事件が突發したことを確かめた。

彼は憤慨した。

『それなら、それと何故明らさまに打明けて斷らないのだ。こつそり陰險な策略を以て、二人の間を切らうと云ふのは、怪しからぬ。よし、そちらがそちらなら此方もこちらだ！』

彼は半ばやけ氣味になり、學校の方は無論退いてしまつて、每日酒に醉つぱらつて矢橋家の附近をうろつきまはり、夫人や惠智子の姿を見ると、追つかけて來て怒鳴りちらしたり、詰問したりする。

矢橋裁判長は、自分の職務に對しても、ほと〳〵困り果てた。然し彼は自分の責任を強く感じてゐるので、事を荒ら立てる譯にも行かず、眉を顰めながらも、なるべく默過して其の日〳〵を過ごすのであつた。

以來彼の心には憂鬱な陰がこびりついて、いつまでも離れなかつた。

多美子夫人の方は、然しそれほど惡い事をしたといふ感じも起らなかつた。で、頻りに三好との結婚を急いで、夢中に奔走してゐたが、惠智子はさすがに沙見に對して濟まないといふ氣がして、暫く悄然としてゐた。

でも、父母の言葉には、どんな無理をでも自分を押へて盲從するといふ風の性なので、いつしか其の空氣に捲きこまれて、其の意のまゝに動くのであつた。

一方、沙見は頻繁に其のやけになつた姿を、矢橋家の附近に現はすので、夫人も惠智子も夜分などは絕對に外出しない。晝間でも止むを得ない時の外は、奧に引つこもつてゐた。

出入りには自動車をぴつたりと門前に橫づけにさせ、幌を深くおろして人目をさけた。

或る日、惠智子は三好と一しよに茅ケ崎の別莊へ行つて二三泊してかへつて來たが、どうしたのか自動車を降りると、眞蒼な顏をして奧の一間へかけこみ、『お母さま唯今！』といつたきり、其の場にペツたり坐つてセイ〳〵と喘ぐやうに息をはづませてゐる。

『まア惠智子、どうしました？』と多美子夫人は呆れて『三好さんは？』とたづねる。

『今、あとから入らつしやいます』

『お前さん、どうおしなのよ？三好さんと喧嘩でもしたかえ？』

『いゝえ、今そこのところで怖いものを見ましたので……』

『なに怖いものを？』

『はい、まるで氣狂ひのやうになつて暴ばれまはつてる男を、お巡りさんが二三人で無理やりに捕まへて、連れて行くところを……』

『何でもないぢやありませんか、そんなもの。大方それはお酒にでも醉つぱらつたものでせうよ』

『だつて、それが、あの沙見さんのやうでしたもの……』

『え、沙見……』といつた夫人の眉間にはちらと暗い陰がさした。

『もう、あの人は此方と何の關係もないんだからね。そんなに怖がつたり、氣にかけたりする事はないのよ。――』

『でも……憾んでゐらつしやるんぢやないでせうか？』

聯盟の態度に我關せず邁進
極東の現實を解せざるもの
滿洲國政府態度表明

聯盟が滿洲國不承認の項目を所謂聯盟規約第十五條第四項に基く勸告書內に記載し滿洲問題の解決に關してはあくまで無謀にも現實の極東の事態を解せざる結論を誘導せんさする强引政策に關し滿洲國政府に於ては左記の嚴然たる見解に基き聯盟の如何なる決定に對してく何等拘束せられるものに非ずさ、極めて强硬なる態度を明示してゐる、即ち滿洲國建國以來滿洲國政府は完全に支那より獨立分離し現實の滿洲は滿洲國によつて統治され此の事實は世界の如何なる力によつても到底舊事態に復歸するものに非ず、滿洲國は如何なる國家的難關をも突破してただ建設し一路に邁進するものである、從つて聯盟が徒らに法理形式にさらはれ滿洲の現實を無視した解決をするさしてもそれは單に机上に建てられた空論で現實に對しては實際的の何等影響を齎らすものでないことは明らかである、故に聯盟が第十五條第三項、若しくは第四項によつて滿洲問題を解決せんさしても滿洲國によつては何等痛痒を感じるものでない、然し滿洲國としては聯盟の最近の動靜に對しただ法理形式にのみさらはれ現實を無視した解決方式は徒らに聯盟は傀儡の出店なることを世界に證明するに過ぎないさ言ふことを敢て言ひ度い、聯盟は極東平和建設の爲め世界からの信用を失し機關さしての機能を失ひ解消を早めたに過ぎないのである

日本は最早や
これ以上の案は出さず
和協達成に邁進する

【ジユネーヴ八日發國通】松岡代表の居室に會合して七日の各國代表との私的折衝結果に基き本日午後對策を愼重審議した、此の結果聯盟の日支問題處理が規約第十五條四項によるとせば、對策は豫め充分盡し置く事さするも、今回の日本案は少しも無理が無くこれをも聯盟が認めぬとすれば、それこそ當然聯盟の責任であるから今後は斷然新しい對策等は出さない事さし、あく迄公正な日本の立場を押して行く事さし、聯盟方面に於ける情勢の如何に拘らず我主張を貫徹し、和協達成せしむべき努力を最後まで續ける事に決定した

對聯盟策協議の八日の臨時閣議

【東京八日發國通】八日午後一時半より首相官邸で再開された臨時閣議で、齋藤首相は聯盟經過を斷片的に報告したが、總括して內田外相より報告して貰ひ度い、さ述べ、內田外相は聯盟總會さ十九ヶ國委員會の經過を順序的に詳細に報告し、之に對する各方面の情報を合せて述べた、これに對し荒木陸相の質問あり午后三時半散會した、

齋藤首相語る

【東京八日發國通】八日の臨時閣議後齋藤首相は左の通り語つた

本日の閣議では內田外相より聯盟總會並に十九ヶ國委員會の經過を詳細取纏めて説明したが、別段問題が起つたさいふ譯ではない、聯盟の方は未だ最惡の場合にまで達してゐない、或は最惡の狀態に立到るかも知れないが、それだからさいつてれはてる事は無いさ思ふ

今日宮中で鈴木侍從長さ會見したが、政治上の問題では無い、侍從長から一昨日西園寺公さ會つたさ言ふことは聞いたが、自分の會見はこれに關連するものではない、西園寺公を訪問したいが暇が無く當分は訪問しない、本日の閣議は內政問題には及んでは居ない、熱河方面に新しい事端があるさいふ話も無かつた

外相が樞府で說明の聯盟最近の內容

【東京八日發國通】內田外相は聯盟の狀勢極めて重大な分岐點に直面してゐるに鑑み、樞密院が會議日を機會に之れが經過を報告する事さなり八日午前十時四十分宮中東溜の間に於て倉富、平沼正副議長以下各顧問官に對し、聯盟經過、殊に我國の主張せる聯盟規約第十五條第三項の和協達成されるか、或は最惡の第四項の勸告の發動を見るに至るかの見透し並に今日迄取り來れる政府の措置に對し詳細に亘り說明、更に今後の推移に伴ふ確固不動の既定方針を强調し各顧問官の諒解を求めた

聯盟は未だ最惡の場合には立至つてゐない
緊急閣議後齋藤首相語る

【東京九日發國通】齋藤首相は緊急閣議散會後左の如く語つた

今日午前官邸に於いて鈴木侍從長さ會見したのは豫てから私事について相談してあつたが返事が遲れてゐたのでお訪ねした次第で、政治的の事ではない、又午後臨時閣議を開いたのけ議會のため皆が外相に聯盟につき聞く事が少いため外相の暇を利用して參集を請ひ、外相から今日樞府で話されたことを皆の頭に入れて置いて貰ひ度いさ思つて閣議を開いたのであつて、內相問題や何か特別の事情で開いたのではない聯盟の情勢に就ては前の閣議後大した變化はない樣であるまだ最惡の場合に立至つてゐないが或はさう云ふ場合になるかも知れないから政府さしては相當決意をしてゐなければならぬのは當然だが總て物事はあわててはならぬ

和協手續き交渉著しく好望さる
八日の起草委員會

【ジユネーブ八日發國通】本日の起草委員會は午前十時半事務總長室に開會、審議二時間十五分、零時四十五分散會した、會議後勞働事務總長は松岡、杉村兩氏さ會見、帝國政府の最終回訓に基づき新提案手交され且つ詳細說明されたことを通告したが委員會は日本案審議の權限なしとの理由で九日午前十時半十九ヶ國委員會を開會して審議することに決定、四項に基づく報告書主として勸告の部分に關しリツトン報告書第九章解決十原則に基づき審議したが事務局起草の勸告案は思ひ切つた修正がされた模樣で殊に勸告中の一項目鐵道利權其他滿洲に於ける日本の特殊利益を如何なる形式で承認するかに關しては議論區々に分れ現在三個の分案が議に上つており起草の完了には尚ほ一、二回會合が必要とされる各會議が進捗しなかつたのは日本案のため起草が中斷されたとも觀られ和協手續き交渉著しく好望さなつて來たことは明瞭で各委員とも今回は限り申合せて一樣に沈默してゐることは非公式に今回の日本案が審議されたさ見られ、從つて前途の光明を裏書するさ觀られる

樞府もまた
政府の聯盟政策を支持

【東京九日發國通】內田外相は既報の如く八日午前十時四十分宮中に於て樞府正副議長以下各顧問官及び二上書記官長參集の席に臨むや先づ金子顧問官より

從來政府の外交經過の報告は單に形式に流れ新聞報道さ殆んど同樣だから外務大臣はもう少し胸襟を開いて眞實の說明をされたいこれによつて我々の意見も定まるのである

さて小村侯の外交當時の例を引用して外相に希望し次いで內田外相聯盟の一般經過及び政府の對策今後の推移に伴ふ方針等について約一時間に亘り、詳細報告說明あり、これに對し金子再び起つて外相の說明に滿足を表し。引續き、岡田新井、富井、原其他各顧問官より何れも事實に即した問題に關し外相さの質疑應答あり午後零時半散會したが、要するに樞府側では今日迄政府の執り來る措置は機宜に適したるものさ認め、政府の既定方針さ全く意見一致し將來も萬遺漏なき對策を講ずる樣に希望し最後の十九ヶ國委員會の結果が、いやしくも我主張に相反する場合に於ては敢然所期の目的貫徹の爲强硬なる態度に出るやう大いに政府を激勵するところがあつた

八日下院の豫算第一分科會

【東京八日發國通】八日の下院豫算第一分科會で、國民同盟の高橋壽太郎氏の質問に對し、大角海相は明年度豫算に計上された潛水母艦一隻、驅逐艦一隻、及八千五百噸巡洋艦建造の左記の項を提示した

八千五百噸巡洋艦は、漸次帝國海軍が世界に誇る摩耶級の一萬噸巡洋艦一隻、全長八米、全幅○米五十を縮少するのみにて速力は同じく三十三節、一隻建造費二千四百二十八萬圓で目下一隻が建造中である、此の新精銳艦さ相俟つて潛水艦、驅逐艦さの補助艦が竣工せば海軍の威容は堂々世界を壓するだらう

蘇領遁入の反軍
文字通りの監獄生活
賓客としての待遇も今は夢

【ポクラニチナヤ八日發國通】我討伐軍に追はれて蘇領內に遁入した蘇王丁等の反滿軍及後の狀況は、支那本土歸還も進捗せず極寒に衣なく、食なく、多數病人を出して進退兩難に陷り、逃亡者續出の有樣で、前日ニコリスクから逃走國境を越へ當地に着いた一脫走兵の談る處によれば

王德林は日本軍が襲來の前先づ家族を蘇領に逃し、一月九日日本軍の東寧攻擊の前日橋でニコロリウオフスキーに逃け赤軍に武裝解除された、逃走前王は我々に「我々は黨國の英雄であるから上海に行けば必ず優遇される、蘇國さの國交恢復したので我々を賓客さして待遇する事になつてゐる」さ訓示して居つたので本當かさ思つて入蘇して見るさ全然嘘事で我々三千餘人は監禁同樣一步も外出させず、食物は一日黑パン半斤に白湯一杯を吳れるだけ、榮養不良で病人が出る、苦しいので逃走する者が多いので昨今は監視が嚴重になつて文字通り獄屋住ひである、支那にも歸れず、此儘で居れば半分は餓死するだらう此の一同の苦しみに王は知らぬ顏である爲め、一部の者は結束して今度王さ會つたら打殺すさ憤慨してゐる私還は暗夜を利用して脫出したが國境を越へてヤット安心した、思へば殘つて居る連中は何も知らないで王の犧牲さなつて居るのだが可愛相なものだ、云々

「老齡の母を想ふ」
叛將丁超語る
八日ハルピンに到着

【ハルピン八日發國通】叛將丁超は六日來哈の豫定であつたが降雪の爲二日間遲れて八日午後二時飯塚大佐に伴なはれて夫人同伴飛行機で來哈した、當時飛ぶ鳥をも落した彼丁超も思ひなしか面やつれして出迎の人々に挨拶を交し自動車にて○團司令部にて廣瀨○團長さ會見後東鐵理事張恕氏邸に入つたが只今は非常につかれて居るから頭も亂れ勝ちである上に尙裁かれる身でもあれ色々御尋ねされる事は困るのですがさ前提しつゝ

自分は素より滿洲國に對して何等反抗する意志はなかつた、然しながら斯くなる上は執政及關東軍司令官さも面謁し國法の命ずる罪に服從し將來の忠誠を誓ふより他に道はないさ考へて居る、然し今は非常に疲れてゐる事さて當分は休ませて頂き度い、將來は輕い責任なれば責めに任じてもよいさ考へて居る、部下はそれぞれ歸農する見當も付いて居るし此の方は心配ないさ思つて居る、故鄕撫順には本年八十七才になる母が居るが未だ自分はハルピンに總指令をして居るものさ思つて居る、其後の事に關しては何一つ知らないが高齡の事さて自分さしては一番心配して居るから新京に赴むいたならば是非撫順に歸省して母を訪ひたいさ思つて居る

滿洲を感じる（四）
朝鮮總督府事務官　堂本貞一

△○○事件

十二月二十一日、ヤマトホテルで着任披露の宴を催したさころ、寒中、殊に各方面共御多忙であり、歲末も押し迫つて居るにも拘はらず多數の客が出席して下され、殊に、大村、鈴木、兩閣下も御出で下され、滿洲國政府の方々も快くご來會され、肩身廣く、嬉しく感じた。

殊に、岡村關東軍參謀次長閣下が、私の御挨拶に對して御答への御言葉を下され「關東軍に於ても朝鮮關係の問題に對する重要性を痛感し、參謀第三課に朝鮮班を特設して專任者を置くことにした恰も之れさ時を同じくして朝鮮總督府が堂本君を派遣駐在せしめらるることさなつたのは、期せずして兩者の氣合が一致したものであつて洵に喜びに堪えま」せんさ述べ、杯を舉げて健康を祝し下さつたのは心中恐悦るものがあつたが、深く感激し、堅く期するところがあつた。

此の期待、此の協力、此の後援に酬ゆる爲幾多、朝鮮の人々に對する不良なる感想の根源を除去すること。朝鮮の人々に對する同情さ理解さを深めるこさ、朝鮮の問題に對する各方面の便により深甚なる協力を仰ぐこさ、その爲如何さ苦心焦慮してゐる矢先、突如さして○○○○○○○事件の情報を耳にしたのであつた。時は十二月の二十四日。私は、東京、大阪、上海等で起つた○○事件によつて與へられたショックを强く心に印して居るので、みんなだけは無い樣にさ、日夜念じかけて祈願して居つたのであるが、つひに杞憂が杞憂さして與れないで、惡夢さ化したのであつた。悲しい思いか胸を衝いて、積み上げ來きかけた石垣が崩されたやうな感じがし、しかし、斯か、事件かあるだけに、朝鮮の問題[illegible]々深く考へられねばならず、それだけ重大性を加へる譯なので。幸い事は未然に防き得た。之れ全く天祐であつた。不幸中の幸であつた。斯く思ひ、責任の[illegible]を感じ、勇氣を振ひ[illegible]後、山海關事件[illegible]學良の[illegible]露骨なるものがあ[illegible]現はれた[illegible]十六日、此の日、長谷部○軍凱旋[illegible]の將兵か新京に凱旋[illegible]驛前には歡迎門や凱旋塔がこしらへられ[illegible]旗を揭揚して居る天[illegible]陰ではあつたが風な[illegible]日であつた。步武堂々、凱旋の壯容に接することは出來なかつたが、打ち揚げらるるラッパの響きさ煙花の轟きさ勇ましいラッパの響きさを耳にしながら、其の光景を想像した。日が短いので、午後四時を過ぎるさ、もう電燈をつけなければ執務か出來ぬ有樣である午後の五時半過ぎ、街燈の光が寒さうに輝き、星影疎な下を宵暗迫る中を旅舍に歸へる路を辿つて、漫步して行くさ辻々から、多きは十數名、少さは四五名の將兵が隊伍を組んで現はれては道を橫切つて彼方の辻へさ進んで行く。恐らくは、色々の任務で、本隊さ別々に、晩くなつてから宿舍に向ふのであらう。防寒服に身を包み、鐵兜を背に負い、顏に精悍く、武裝も々しく、戰塵にまみれた姿を見ては、思はず低頭して敬意を表せずには居れなかつた。旅舍に歸り着くさ、入口に着劍した衛兵が起つて居る。見れば、旅舍は○兵第○○團司令部になつたのである。刺を通じて長谷部○團長閣下に祝意を表するさ、返つて「御苦勞樣です」さ、朝鮮から來て居ることに對して挨拶を受け恐縮した。長谷○團は、新京に滯在することさ一週間餘、昭和八年一月四日、新京發、內地へ向け凱旋の途に上つた。恰かも、拓務省の提政務次官が見えて居られたので御目にかかつたりしてごたごたして居たが、長谷部閣下か玄關を出られるさき一寸、御挨拶申上げたところ「いよいよ歸ります」さ一言云はれた

臺安縣感謝昇平大會
武藤司令官宛感謝電を發す

【臺安九日發國通】于奉天警備司令の指揮する遼河一帶の大討伐は既に逃走者は熱河省境に姿を消し歸順者は武裝解除又は自衛團に改編して掃蕩一段落の形さなつた、殊に臺安縣下は古來滿洲匪賊の根城さして永年匪害に苦しめられた處である爲今回の討伐は一入住民を喜ばし期せずして起る慶祝の民聲は遂に六日午前九時より開催せられた鄧縣長主催の臺安縣感謝昇平大會さなつて現れた、會場に當てられた城東第一小學前の廣場には四千餘の大衆が雲集し國旗揭揚に始まり會長鄧納武氏の日滿聯合討伐軍に對する謝辭次で臨席した于芷山將軍我打虎山警備司令官川原少將の祝詞があり左の大會決議を武藤軍司令官宛打電を滿場一致可決しそれより祝賀遊行に移り縣城の東西大道を一周して未曾有の盛況裡に滿洲國萬歲を高唱散會した

武藤軍司令官宛感謝電

管內は屢々匪賊の害に遭ひ水深火熱に陷り人民は久しく不安の歲月を過せり然るに今回何の幸ぞ日滿兩軍の勇鬪に依り匪賊を徹底的に平定し人民の負擔を輕減して安居樂業を得しむ、感激極りなく以て報ゆべきものなし、茲に全縣人民心より成る感謝昇平大會を開催し祝意を表するさ共に貴軍司令官以下將士一同に感謝の眞を致す

東北軍獨立第十五旅
石門寨に進出

【錦州八日發國通】灤河を中心に待機中の東北軍獨立第十五旅は六日石門寨に進出したこれが爲め同地一帶では近く日支兩軍間に衝突が起らんさの諸旨が頻りに飛び、人心不安を呈し住民中には綏中方面に避難するもの續出の有樣である

支那軍移動開始

東北軍十九旅は北章衛子附近の駐屯地から朝陽縣に向けて移動をはじめその先發隊は既に六家子に到着し、熱河軍の一部趙[illegible]騎兵旅崔興亭旅の一部も移動をはじめたが各地に於ける自衛團はこの部隊の移動を阻止すべく準備中である

勇士の遺骨

【東京八日發國通】山海關に於て壯烈な戰死を遂げた、關東軍の兒玉利雄大尉等の遺骨二十体は八日午前五時十分、軍部關係者、愛國婦人會、國防婦人會員等多數の出迎裡に東京驛並に上野驛に向ひ、同

臨時休刊

九日は舊正元宵節につき從業員工場員に給暇のため十日朝刊を臨時休刊致しますから御諒承願ひます

決死便衣隊募集
何柱國軍より

【山海關八日發國通】石河右岸に集結して居る何柱國軍に對して張學良より今日迄數度に亘つて山海關奪回の命令が下つたらしいが一度日本軍の猛火を浴びた同軍將士びくびくもので正門よりの攻擊は不可能さし背面から日本軍を攪亂せしめる作戰に決し目下各隊より決死便衣隊五百名を募集し此れに小銃一挺さ手榴彈五個を持たし石門寨方面の山地から關外に出し前所、綏中、錦州の各地で要人暗殺、建物破壞の潛行暴動を起さんさして居る事か明さなつた

臼田參謀吉野大尉出發

關東軍から參謀本部に榮轉の臼田少佐、吉野大尉は九日午前九時發列車で歸京したが驛頭は日滿官憲、新聞通信關係者その他の見送り人で非常な賑ひを呈した

東拓債券一千萬圓賣出し
要綱

【東京八日發國通】既に決定の東洋拓殖債券二千萬圓中一千萬圓は賣切れの好成績を示したが殘額一千萬圓も前回同樣の左記要綱で發行に決定した

利率　年六分
額面　百圓に付百圓
償還方法　二ケ年据置

鷲籠

□ 滿洲國政府對聯盟態度決定、曰く聯盟の向背如何は問ふ處にあらず、飽くまで勇往邁進

□ 叛將丁超ハルピン着八十七歲の老母の身の上に先づ想を寄す、やはり彼も人の子

□ 國務院の運轉手ガソリン泥棒を働く、端を茲に發し高級官吏の不正事件漸く暴露せんさす

□ 痛いからさて外科のメスを嫌忌する、それ頻の全身に及ぶを想はざるや

人事往來

▲馬場中佐（騎兵第○○團司令部）八日午後四時三十分南行
▲渡邊少佐（第八師團司令部）同上
▲井上總領事（シドニー領事館）八日午後六時五十五分來京
▲闞鐸氏（奉山鐵路局長）八日午後七時五十分來京
▲李景清氏（暫編警備獨立第三支隊司令）同上
▲大本中佐（朝鮮憲兵司令部）同上
▲片村中佐（關東軍司令部）同上
▲上野少佐（混成第○○團司令部）八日午後十時南行
▲李紹庚氏（中東鐵路督辦）九日午前八時四十分ハルビンへ
▲李保氏（中東鐵路督辦諮議）同上
▲伊里春氏（中東鐵路督辦局長）同上
▲尹祚乾氏（松江商軍江防艦隊王官）同上
▲趙欽伯氏（立法院長）九日午前九時南行
▲十河理事（滿鐵）九日午後七時五十分來京豫定

ガソリン窃取の國務院運轉手逮捕
數十回に亘り千余圓を着服
高級官吏の不正も暴露か
極秘裡に捜査を開始

昨年十二月上旬から本年一月中旬に亘つて滿洲國々務院自動車倉庫から自動車用ガソリンが頻々として盗難にかゝつてゐる旨首都警察廳に届出たので、廳司法科では極秘に犯人捜査中の處、右ガソリンを市内福德公司コト于豐武、王成堂が購入してゐるを探知し取調ると右兩名は、滿洲國土地局自動車運轉手王乃岐(三三)外四人から前後數十回に亘り千二百六十三圓のガソリンを購入したる事實を自白した、右兩名は贓物故買、自動車運轉手五名は窃盗犯人としてそれぞれ一件書類と共に身柄を新京檢察廳に送致した、同科ではこの種の犯罪を初め滿洲國高級官吏間に御用商人を相手に不正事件を敢行してゐるを突止た模様で、同科では八方に手別し極秘に捜査を開始したが意外な方面に迄手が延びるものとみられてゐる

肉彈三勇士や西洋ものも多い
桃の節句が近づきましたヨ
サテ御値段は？

あと幾つ寢るとお雛様よ！と可愛い指を折りつゝ待ち佗びてゐる孃ちやん方の世界、桃の節句が目の前に訪れて來た

＝本年＝の雛人形は昔ながらのは勿論爆彈三勇士、洋裝の美人、鐵カブトの兵隊さん等時代相を現はしたものもなかなか多い、品質は矢張り東京物が一等で、京物、大阪物はぐつと落ち、一年毎に良い品が喜ばれる様になつて來た、此處にもインフレ景氣の根强い一端が窺はれる、値段は大體昨年と變らない處で、御殿に親王（王様女王）雛の一尺二寸で、二圓から二圓五十錢、同じく一尺三寸で、親王と三人官女附のもので、二圓五十錢から三圓位、同じく一尺七寸大圓五十錢から七圓五十錢

＝一尺＝は九圓から十圓止り、御殿の外ニタの附官のあるもの二尺八寸で十二圓内外、二尺の飛切り上等で十七八圓、次に官女は三寸のものは御殿内に入つてゐるが、五寸は外殿に置く様になる、がこれで一圓、十錢から二圓八十錢、隨臣（左大臣一名右大臣一名）一圓五十錢から四圓八十錢、衛士（三人仕丁）一圓三十錢から二圓五十錢、五人囃一圓五十錢から六圓、左近の櫻右近の橘は紙製で三十錢から八十錢、絹製二圓より二圓五十錢、ボンボリ四十錢から三圓位まで、蝶膳一對一圓四十錢から二圓五十錢、菱台三十錢から一圓八十錢、三寶御酒德利口花一圓二十錢内外、これし

＝先づ＝一通り揃つた譯である
が一番多く出る品で一通り揃へて見ると一尺七寸の御殿親王六圓五十錢、隨臣二圓五十錢、衛士一圓、五人囃一圓、左近の櫻右近の橘八十錢、ボンボリ一圓二十錢、蝶膳一圓四十錢、菱台三十錢、三寶酒德利口花一圓二十錢、合計二十一圓になる、これ丈は家庭で求めるのが本當だそうで進物用としては三圓から五圓位が一番多く、浮世人形二人舌切雀の爺さん婆さん、太田道灌と山中の娘等が一圓五十錢より四圓まで、三人物常盤御前、東下り等で三圓から四圓五十錢位其他市松人形の賣行も

＝相當＝多く三圓五十錢より八圓五十錢位の處が喜ばれてゐる

首都警察廳
强盗逮捕に大童べ

新京首都警察署廳では連夜に亘つて續發する拳銃强盗犯人逮捕にやつきとなつてゐるが同總監は部下を督勵し市内全署員また不眠不休で大活動を續けてゐる、七日夜大經路署は過日市外楊家大櫃の農家を襲つた强盗犯人崔維新(三三)、趙殿臣(二九)、金山(二二)の三名を逮捕した、又長通路署では昨年十一月末城内五馬路周姜氏方を初め外二軒を荒した拳銃强盗下九台駐屯方五旅兵士五劉平、同上張恩義、住所不定、馬青山、田雨生、翟遊城の五名を前日夜逮捕し目下取調べ中である、余罪多數にのぼる見込である

雪の巻（十二）

オクサマタカラモノ　イタ（雪の巻）イチロ作

シツカリツカマツテ オイルノヨ
ヤヤ……ニゲシタカ
アタクシシツカリナサイ
タスカツテヨカツタ
カミナリノタマゴツテナニ？
イマニカミナリノタマゴガハレツスルノデスヨ

新京署劍道教師異動

新京署劍道教師清水庸三郎氏は今回遼陽署に轉出することになつた、同氏の後任として撫順署から劍道五段教師竹村象十氏が着任することに決定した、なほ同署へ柔道教師三名、高根澤貞藏氏（大連水上署）同石川速水氏（大連小崗子署）同岡崎總富一郎氏（范家屯署）が着任することに決定した

新京署寒稽古
十二日納會

新京署では連續的の强盗事件發生に鑑み柔劍道の寒稽古を十日限り打切り十二日納會式を擧行することになつた

滿鐵學校長
會議第三日

滿鐵學校長會議第三日、小學校長會議は八日午前九時三十分より社員倶樂部に開催の上衛生課に關係ある諸問題以外の提案に就き協議し

▲支部語科に關する諸問題（鐵嶺）
▲華語を必須科目として尋一より課する事を當局に要望するの件（公主嶺）
▲尋常小學校に於ける華語教授方針並に同科教員配置に關する件（奉天合同）
▲鄕土教育並に勞作教育實施方案如何（撫順）
▲鄕土教室經營の良法承りたし（公主嶺）
▲土地の狀況を考慮し各學校に特殊の研究項目を持たしめ充分なる研究を遂げしめらるゝ様制度を設けられては如何（鞍山、本溪湖、撫順）
各件は昨日の合同會議に於て設置に決した「滿洲在住邦人子弟の教育方針を研究する委員會」に研究を委囑することに決し午後一時十分から衛生課に關係ある特殊學級及び衛生に關する提案に就き協議することとした（大連）

十一、二兩日は
新京驛の電力がとまる
器機類清掃のため

來る十一日、十二日、新京驛構内の電力がすべて停止される時刻は兩日共午前十一時三十分から午後一時三十分までの間、原因は配電所の器機類を清掃するためで、其間十二時三十分發大連行の列車があり發車前後に鳴らす電鈴は兩日とも振鈴によつて合圖することにしたから、見送りの人々は電鈴が鳴らぬからまだ發車せぬと思はぬやうにして欲しいと

本願寺屯田僧
三月に五十名來滿す
先づ大連で滿洲教育

京都大谷派本願寺では國家的移民事業の貢獻と宗派開拓の目的を以て昨年六月宗議會會計評議員會の協贊を經て昭和八年度に經費二萬圓を計上して「大谷派本願寺移民指導者養成計畫」を發表して佛然宗教界に異彩の波紋を捲き起したが、來る三月同派各地方寺院子弟中より滿洲屯田志願僧五十名を募集派遣することに決定した、因に屯田出僧は渡滿後滿洲事情に精通するを必要とするため大連市外に在る同派農習所に入所せしめ約二ケ年間該地に於て農業の實地訓練と支那語とを修得せしめた後各地に屯出することとなる筈で、右農習所に當てらるべき田地二十町歩は既に半永久的借地契約の手續を濟してある

藤原義江さん
傷病兵に寄附
軍司令部頗る感激

我等のテナー藤原義江氏は關東軍參謀部作曲「討匪行」及アジア行進曲の作曲に心血をそゝぎ昨冬これをビクター社のレコードに吹込みたるに俄然世人の感興を引き既に一萬四千枚を賣出し、その印税三百三十五圓を今回關東軍傷病兵慰問の爲軍司令部へ寄贈して來た、軍司令部では大いに感激し氏の好意にそうべく使途につき目下計畫中である

日出町で一戸全燒

九日午前零時五分頃市内日出町八丁目果物行商人邸仁方から發火し大事に至らんとしたが馳せつけた消防隊の努力により一棟を全燒したのみで零時四十分頃鎭火した、原因は溫突の不完全より失火したもの

附屬地の支那料亭
水揚げ高増加

市内附屬地内の支那料理店は事變以來日ごとに水揚高が增加してゐる、今一月中の揚高を見ると四萬九千九百三十圓七十四錢、前月に比し四千三百十圓四十錢の增加を示した、これが原因は最近續々として内地から新京目指して乘り込み、いづれも異國情緒を味はうためまづ第一に内地料理店に足を入れるよりか支那料理店へと出かける者が多くなつた關係で、右遊興客の大半は内地人であると

地方事務所で
家政婦業開始
大連と略同様のもの

新京地方事務所社會係では現下の新京は非常に各家庭とも女手不足で困却してゐるのに鑑み、家政婦事務を開始する事に決定、大體大連の家政婦規則にならつて細則を作成中であるが、三月初旬迄には取扱を始める豫定である

經濟事情
案内所設立

七日來京した滿洲文化協會事務理事貝瀬謹吾氏並に書記長佐藤四郎氏は同會經營の事業として今般設立せられた關東軍司令部指導滿洲經濟事情案内所の設立挨拶のため各方面を歷訪した、七日に小磯參謀長、八日は總務院、司法部、實業部文教部を歷訪したが國務院に於ては鄭國務總理と會談二時間餘に亘り、談たまたま滿洲に於ける文化事業に移るや鄭國務總理は今後執るべき滿洲の文化事業は自分の抱懷する王道主義を以てせねばならぬと語り、貝瀬氏と固き握手を交した、尚貝瀬氏は席上大連陶雅堂精製の鄭國務總理直筆を浮彫した陶製壁掛けを國務總理を通じて執政溥儀氏に獻上した、又文教部に於ては豫て學界要望の的であつた日滿學者を網羅する學術研究機關の組織を促進せんとする案が語られ隊大いに之れが斡旋に努め具體化せしむる事となり、氏の歸連後は大連滿洲文化協會を中心として具体化するものゝ如くである、尚貝瀬、佐藤兩氏及び滿洲經濟事情案内所奥村發信氏は九日朝發ハルビンに向つて北行したが、これはハルビン滿洲文化協會事務所を更生し其の實價を發揮せしむべき段取をつけるもので早速日滿人の社交親善機關として日滿倶樂部開設に取掛るものと稱せられてゐるが已に昨八日右に就いてヤマトホテルに於て關係要人と打合せを終へた模様である、今後の全滿に於ける文化的活動は相當に有力視されその方面に期待されてゐる

職業紹介所
好望さる

既報新京地方事務所社會係で建設する事に決定した簡易宿泊所内に職業紹介所を設け、新來者の便利に供する事となつたが、開氷期を待つて各方面より來京する者にとつて非常に歡迎されるとみられてゐる

區長會議で
增員を決議

既報八日地方事務所長室に於て行はれた區長會議に於て第五區は他區に比較して二倍以上の地域にも不拘一名の區長にて事務を取扱つてゐる關係上多忙を極めてゐるので、副區長若くは世話人を四月の改選まで置き四月に改めて區の改正區長の增員を行ふ事に決議した

桃田と稱する男に注意

最近市中を熊本縣人桃田某なるもの本社と關係ある如く裝ひ徘徊迷惑を及し居る由なるも本社とは何等交渉の無きものなれば留意ありたし

馬におしめ
を附けさしてはどう
馬糞の街から救ふ案

新京地方事務所衛生係では每日一千八百臺からの馬車が市内を往來する爲馬糞で著しく市中の美を汚すのに鑑み馬にオシメをつけさせ馬車駐在所の馬糞捨場に捨てさせては何うかと云ふ案が出て目下研究中である
二、乞食、犬が塵芥を散らぬ樣、家屋裏又は屋内に塵芥箱を置くこと現在の樣に亂雜にせぬ
なほ五日より十四日までの十日間馬車二十四車を增加して路側の土砂、建築用の殘物、塵芥の撤去を行つてゐるが好成績である

商業實習所募生

遼陽商業實習所八年度の募集人員は第一部（商業學校又は中學校を卒業したるもの又はこれと同等以上の學力を有するものにして年齢二十歳以上の者）第二部（日本人にありては高等小學校卒業又はこれと同等以上の滿洲國人にありては公學堂高級卒業又はこれと同等以上の學力を有するもの）兩部で日本人約廿五名、第二部滿洲人約五名であるが入所志願者は四月十日迄に遼陽商業實習所に到着する樣に願書の提出を要し入所許否は出身學校長の推薦を參考とし口答及び筆頭試問、身體檢査の上決定される、又營口商業實習所の八年度募集人員は約十名で商業學校又は中學校を卒業したる者又はこれと同等以上の學力を有する年齢二十歳以上日本人に限り入所願書提出は三月十日迄に同實習所に到着する樣入所許否は遼陽同樣考査の上決定、尚詳細は右該實習所に問合すれば良い

長野縣人會

在新京長野縣人會は十二日午後三時から富宴樓で總會を開き諸般の報告役員の改選等を行ひ終つて懇親會を催すから未入會者は此際揃つて入會を希望すると因に會費は金二圓當日持參

傷病兵南下

九日午後零時三十分發列車にて步兵第〇〇聯隊新井軍曹以下八名の傷病兵が南下し沿線各驛よりも三十九名の傷病兵が同列車に乘り内地へ歸還した

傷病兵到着

十日午後三時三十五分着列車にてハルビンより傷病兵三十名來京滿鐵衛戍病院新京分院滿鐵衛戍病院に入院する筈

普通學校紀元節
拜賀式

新京普通學校では來る十一日の紀元節には午前十時から講堂で拜賀式を擧行する

不法露國捕鯨船には
罰金千五百圓

（東京八日發國通）小笠原二見に入港した蘇聯邦、捕鯨船三隻に對する處分問題は、既報の如く檢事局では右船舶没收の强硬態度を取ることに決定したが、其後船体沒收は日露親善關係にも影響を及ぼす虞があるとの意見あり、八日午前十時馬場檢事は鈴木上席檢事と熟議の結果、船體は沒收せず船舶法違反で各船長に對し各罰金千五百圓を求刑することに決し、起訴箇條を命令部に通しその旨、横濱停泊中の三船長に傳達した、

現業員慰問

滿鐵地方部では沿線各驛及び十餘ケ所の現業員慰安のため三班の映畫巡廻團を撰常ケ所を定めて派遣する事とした、尚各班の映畫は次の如し
▲第一班　實寫大龍川一卷、體育デー一卷、開卷時屋八卷、敦盛承認三卷
▲第二班　漫畫一卷、我等の日本三卷、茶世間タタ線桑六卷、安政俠艶記十二卷
▲第三班　おい等の野球一卷、海と空二卷、風船玉七卷、大導寺平橋十卷

滿鐵病院で
盜難
オーバを窃取さる

市内住吉町四ノ四滿洲製油職工三浦幸夫氏が八日午後七時三十分頃から同九時の間滿鐵病院第四病棟×口外套掛に懸けた紺色ラシヤ製オーバ時價八十五圓を何者かに窃取され直に新京署に届出た

衛生會議の
結果

既報八日の衛生會議に於て路面にある塵芥箱を各戸内若くは家屋裏に置くべしとの理由にあり決議し警察告示として三月一日より公布する事となつた

吉凶禍福

八日は出生婚死亡届なし

花街
頭のよさよ
千草の金之助

筑前八幡から新京へ進出して來た料亭は、たしか五軒だつたやうだ、附屬地内では千草柳家、住吉、新京城内外に亘つては、京樂、共榮樓だつたかしら、その先鋒を承つて去年の秋、何月だつたか日本橋通りの裏道の料理屋町に開業した千草

×

その千草にとても頭のいゝ妓がゐるには驚いた、名は金之助、千草の開業する前日に一度顔を見たことがあるうしそ彼女が頗るお酒に強く、飲めば飲むほど朗らかになるといふことは聞いて居り、それを見もしたのは其時一度きり

×

八日の晩だつた、まア暫くと途中で聲をかけた女があるそれが金之助だ、だいぶ御機嫌の体で朗らかなものです、營軍隊を見送つてから飲んで歩いたことを聞はず語りしてゐる　はゝア誰かと人違ひをしてゐるな、然し話者はこのくらひ愛嬌をふり撒いたら決して損は無いなと思はせた

×

こころが話してゐると、こつちの名を云ふので、びつくりした、さうしてマーさんにどうぞよろしく、よつぱらひの金之助もたまにやよんで下さいさね……と、驚いた、頭のよさに

ラヂオ番組

十日（金）奉天
奉天後五、〇〇　レコード
續付　金銀相場商業通信社
新京後五、二〇　演藝
新京後五、四〇　講演
東京後六、〇〇　ニュース
東京中央放送局編輯
新京後六、二〇　時事解説（滿洲語）氣象豫報及滿洲語ニュース
新京後七、三〇　ニュース（英語）
新京後七、四五　ニュース（露西亞語）
新京後八、〇〇　ニュース（朝鮮語）
新京後八、一五　ニュース
氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、三〇　時報
東京後八、三一　ニュース
東京中央放送局編輯

凄艶紅涙双

鈴木彦次郎作　飛鳥久緒畫

部將三好軍太郎も、亂闘中に、左足をしたたか斬り付けられ、指揮權をゆづつて、退いた。

中にも、甲子松は、血まみれた安定をふりかざし、

「星合雄馬は居らぬか。甲子松だぞ。雄馬！雄馬ッ！」

と、叫びながら、あたるを幸ひ薙倒す阿修羅のごとき大奮闘！

「おゝ、小天狗だ。北越無二の荒武者ぢや」

その聲を聞き、その姿を認める者、いづれも、ささやき合つては途をさけ、敢て、斬つてかゝる兵もない。

「雄馬！雄馬！星合は居らぬか！」

甲子松は、一層、いらだつて退く敵の一部隊に、單身、追ひ迫つた。

時しも、東　方にあたつてごつと、湧き起る歡聲！

——あゝ、つひに、山本大隊は力戰、阪井口の敵を敗つて、今町に攻め入つたのである。

「やあ、味方は、すでに、坂井口を攻め敗つたぞ！すゝめ追へ」

蒼龍窟はすかさず、大音をあげて、隊士を勵ます。——

彼も、飛彈に、右脛をかすめられ、輕傷を受けてゐるのだけれど、剛氣な蒼龍窟、戰機を失しては一大事と、痛む足を踏みしめ、先頭にたつての號令だ！

「阪井口、やぶる！」

と、聞いては長兵も、もう戰ふ勇氣もない。——たちまち、崩れ立、見附、大口方面へ、てんでに敗走した。

蒼龍窟の率ひる主力隊は、意氣益々あがつて、逃げる敵を追ひながら、堂々、安田口から、今町へ浸入した。

——かくて、六月二日のたそがれ時かねて計畫通りごさ敵を追ひはらひ、猛闘後の河井山本兩隊は、首尾よく、今町で再會し、歡呼の聲をあげて、祝ひ合つた。

殊に、安[illegible]口の[illegible]一線を攻め破つた河井隊の先鋒働きは、大したもの。

鐐之進もその奮闘には、心から感動したものとみえ、直ちに、大川、松井、一條等の勇士をよんで大いに、戰功を賞した。

けれど、甲子松は、どうやら、ぼんやりして意氣が昂らぬ。

戻る道すがら得意滿面の鐐之進は、友の樣子に、不審の眉をひそめながらたづねた。

「どうしたんだ。傷でも痛むのか？」

——鐐之進も、甲子松も、さすが、戰後、氣付いてみれば、ともに數ケ所の刀傷を受けてゐたのだ。

「いゝや、みんな、かすり疵だ何でもない。」

「——なら、何だつて、そんな浮かぬ顔をしてるんだ。」

「逢はぬ、今日も、遂に逢へなかつたあいつやつぱり來なかつたかな、それとも、すでに、どこかで、戰死でもしたか——」

「あゝ、例の星合とか云ふ奴か何しろ、まるで雲をつかむやうな話だからな。しかし、まだあきらめるにはやいよ近々に長州の援兵も到着するといふ噂だ、其中にでも交つてゐるんぢやないか！」

鐐之進は、氣の毒さうに、あてずつぽうを云つて慰めた。

「うむ、さうだな、いよいよことを聞いた、それなら、日數も丁度あふ、きつと、その中にゐるにちがひない斷然、逢へる自信があるのだ、昔から、俺の信念は、必ず通るからな、アツハハハ……」

時に松井、今日は、おぬし、滿足だらう安定に思ふさま、血を吸はしたからなあ。」

「うむ、おかげで、危いところをたすかつた、だが、安定はよく斬れるなあ。」

けふの運勢

二月十日

金曜　丁未　佛滅　亢宿　舊正月十六日

●一白の人　此の日爭を生ずる時は永く解決せざるべし　丁と辛、癸が吉

●二黒の人　進退節度を誤らざれば平和に進展を見べし　乙と戊と亥が吉

●三碧の人　一喜一憂運氣不定の日なり內を守るが安全　丙、庚と亥が吉

●四綠の人　努力次第にて難關を切拔け顯脱する日なり　丁、庚、壬が吉

●五黄の人　和順なれば人の親を得剛情なれば進路亂る　甲と乙と戌が吉

●六白の人　油斷せず又根氣強ければ何事にも成功の日　乙、戌、丑が吉

●七赤の人　運氣は強けれども仕人物には注意を拂ふべし　卯と酉と亥が吉

●八白の人　幸福に見ゆるとも實際は却て利得少なき日　甲と戌、丑が吉

●九紫の人　永久の利害を見定めて事を處理するが安全　丁と亥と壬が吉